

機関リポジトリへの取り組み - 高知工科大学学術 情報リポジトリ構築 -

著者	北村 多樹子
発行年	2007-11-22
URL	http://hdl.handle.net/10173/334

機関リポジトリへの取り組み — 高知工科大学学術情報リポジトリ構築 —

高知工科大学附属情報図書館
平成19年11月22日

もくじ

1. 大学、図書館の概要
2. 機関リポジトリ概要
3. 構築までの経緯
4. 図書館実務担当者の取り組み
5. 今後の予定と課題

高知工科大学概要

❖ 設立

◆ 1997年

❖ 大学種別

◆ 私立大学(公設民営)

- ◆ 工学部5学科1コース
- ◆ 大学院工学研究科(修士・博士)11コース

❖ 学生数 (平成19年5月現在)

◆ 工学部 1801人

◆ 大学院 366人

❖ 教職員数 (平成19年8月現在)

◆ 教員 149人

◆ 職員 88人

高知工科大学附属情報図書館概要

❖ 開館日

- ◆ 月～金：
午前8時30分～午後7時
- ◆ 土：
午前8時30分～午後5時

❖ 開館日数 (平成18年度)

266日

❖ 蔵書数 (平成19年3月現在)

図書：73,468冊
雑誌：842種

❖ 職員構成

館長1名
室長1名
職員4名



高知工科大学学術情報リポジトリ概要

❖ 収録数

資料別	11月現在	公開時(10/1)
大学紀要	105件	86件
博士学位論文	75件	74件
学術雑誌掲載論文	5件	4件
教材	1件	1件
合計	186件	165件

❖ システム

◆ ソフトウェア

- ◆ DSpace 1.4.2

◆ ハードウェア

- ◆ サーバ: DELL PowerEdge 2950
- ◆ CPU: Xeon 5160 (3GHz)
- ◆ メモリ: 4GB
- ◆ ハードディスク: 約600GB (Raid5)
- ◆ OS: Red Hat Enterprise Linux 4 ES
- ◆ DBMS: PostgreSQL 8.2
+バックアップ装置 (NAS)、無停電電源装置

◆ 構築・運用はネットワーク運用センターが担当



Kochi University of Technology Academic Resource Repository: ホーム - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)




Kochi University of Technology Academic Resource Repository >

高知工科大学学術情報リポジトリ

高知工科大学学術情報リポジトリは、本学の研究・教育活動において創生した学術情報資料を収集・蓄積し、学内外へ無償で発信・提供するものです。

掲載されている学術情報資料の利用について

- 著作物の利用にあたっては、原則として著作権者に許諾を得る必要がありますが、私的使用目的での複製や引用等、著作権法で定める制限規定の範囲内の利用については、著作権者に許諾を得ることなく利用することができます。

お知らせ

- 10/1より公開しました。

検索

検索語を入力して、検索ボタンをクリックしてください。

関連リンク

- [学術情報リポジトリ運用指針\(PDF\)](#)
- [学術情報リポジトリ案内ページ](#)
- [高知工科大学](#)
- [附属情報図書館](#)

リポジトリ検索

[詳細検索](#)

[ホーム](#)

ブラウズ

- [コミュニティ & コレクション](#)
- [タイトル](#)
- [著者](#)
- [日付](#)

登録利用者:

- [購読情報編集](#)
- [マイ・リポジトリ登録利用者](#)
- [利用者情報編集](#)

http://kutarr.lib.kochi-tech.ac.jp - Kochi University of Technology Academic Resource Repositor - Microsoft Internet ...

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

検索

詳細検索

ホーム

ブラウズ

- コミュニティ & コレクション
- タイトル
- 巻数
- 日付

登録利用者:

- 送信情報編集
- マイリストに登録利用者
- 利用者情報編集
- DSpaceについて

コミュニティとコレクション

このリポジトリには以下のコミュニティとコレクションが登録されています。名前をクリックすると各コミュニティ、コレクションのホームページを見ることができます。

- A. 学術情報資料別**
 - 学位論文 [75]
 - 学術雑誌掲載論文 [5]
 - 教材 [1]
 - 紀要
 - 第1巻 [27]
 - 第2巻 [33]
 - 第3巻 [26]
 - 第4巻 [19]
- B. 高知工科大学**
 - 岡村, 甫 (OKAMURA, Hajime) [4]
- C. 物質・環境システム工学教室**
 - 玉置, 寛 (TAMAKI, Hiroshi) [1]
 - 坂輪, 光弘 (SAKAWA, Mitsuhiro) [2]
 - 西原, 駿一郎 (NISHIHARA, Kiichiro) [1]
 - 石本, 美智 (ISHIMOTO, Michi) [1]
 - 大濱, 武 (OHAMA, Takeshi) [3]
 - 谷脇, 雅文 (TANIWAKI, Masafumi) [3]
 - 門馬, 義雄 (MONMA, Yoshio) [1]
- D. 知能機械システム工学教室**
 - 井上, 喜雄 (INOUE, Yoshio) [4]
 - 王, 碩玉 (WANG, Shuoyu) [1]
 - 岡, 宏一 (OKA, Koichi) [4]

①登録論文は資料別に分類

②アイテムマッパーで各教員に紐付ける

Kochi University of Technology Academic Resource Repository

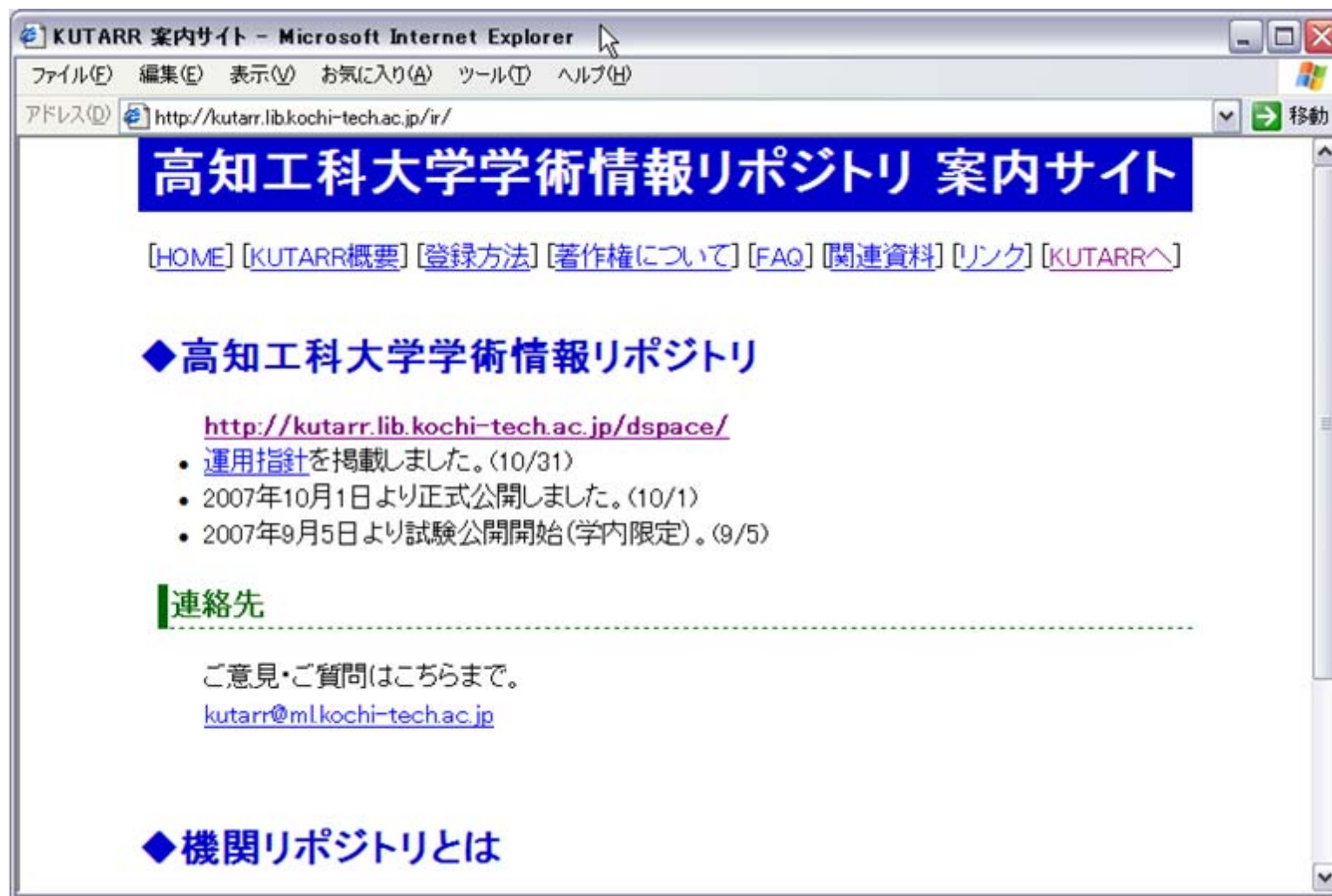
Title	高知工科大学学術情報リポジトリの導入について
Author(s)	北村, 多樹子
Citation	高知工科大学紀要, 4(1): 167-171
URL	http://hdl.handle.net/10173/275
Rights	



Kochi, JAPAN

<http://kutarr.lib.kochi-tech.ac.jp/dspace/>

刊行年、
原稿バージョンを
入れる予定



構築までの経緯

❖ 「機関リポジトリ」との出会い

平成15年10月

第44回中国四国地区大学図書館研究集会

「千葉大学附属図書館における学術情報発信」加藤晃一

<http://mitizane.ll.chiba-u.jp/meta-bin/mt-pdetail.cgi?cd=00020251>

❖ 平成18年度

4月「2006年度私立大学図書館協議会西地区部会
中国・四国地区協議会総会」

平成17年度CSI委託事業事例報告(広島大学、山口大学)

すでに
取り組んでいる

学位論文、紀要→電子化及び公開済み
雑誌掲載論文等→教員評価システムでの蓄積

機関リポジトリ導入の下地はできている！



教員評価システム

本学では、平成15年度から人事制度とリンクした教員評価システムを導入しており、評価制度として、発表された学術論文や作品等が評価対象の一つとなっている。教員は、教員評価委員会に対し、論文の原文または複製を提出するよう義務づけられているため、これらの論文が大学に集積されるようになっている。

教員評価システムとの連携

平成18年度教員評価システムにおいては、教員評価委員会の協力を得て、機関リポジトリでの公開の可能性が高い著者最終稿ファイルも収集し、併せて公開承諾書の提出をお願いした。

- 18年5月 作業部会設置。学長の承認を得る。**
- // 平成18年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築
事業 委託事業応募**
- 7月 // 採択**
- // 大学運営委員会において採択を報告**
- 10月 教授会において取り組みを説明**
- 19年2月 教員評価システムとの連携**

❖ 平成19年度

(CSI委託事業継続)

5月 テストサーバ設置

9月 教職員懇談会においてリポジトリ公開を周知及び
論文提供を依頼

〃 高知工科大学学術情報リポジトリ試験公開
(準備サイト公開)

10月 一般公開(準備サイト→案内サイトへ名称変更)

11月 運用指針施行

図書館実務担当者の取り組み

❖ まずは情報収集！

リポジトリ担当者のブログ

DRF

各機関リポジトリの案内サイト

学術機関リポジトリ構築連携支援事業

機関リポジリには、
リポジリに関する情報が満載！



Junii+で一気に検索



❖ 学内説明会の資料作成(その1) <教授会>

<p>●●● 高知工科大学 デジタルアーカイブ(仮) 整備事業</p> <p>—機関リポジトリ導入の取組みについて—</p>	<p>●●● 本学の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立情報学研究所が推進する「平成18年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」で採択。(全国57大学。四国では他1大学) 平成19年度にシステム運用開始予定。 	<p>●●● 機関リポジトリとは</p>  <ul style="list-style-type: none"> 大学等の機関で生産された電子的生産物(論文等、以下「コンテンツ」)を、各機関で保存・公開する学術情報管理システム。 収録対象物は、雑誌掲載論文、プレプリント、科研報告書、テクニカルペーパー、学会発表スライド、修士論文、学位論文、学生向け電子教材など。 逐次無償公開。 	<p>●●● 機関リポジトリ導入のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 本学で生産されたコンテンツを一元的に管理。また恒久的な保管庫として機能。 本学の研究活動や成果を社会に示す。 学会発表、雑誌投稿以外の新たな発信ルートの獲得。
<p>●●● コンテンツについて・1</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット上に無料で公開するため、著作権者に対し、以下の許諾が必要 機関リポジトリサーバへの蓄積・保存のために著作物を複製して格納する。 その複製物をネットワーク上より、不特定多数を対象に無料で公開(送信)する。 保存・利用のために複製や媒体変換を行う。 	<p>●●● コンテンツについて・2</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有コンテンツは、共有権者による複製・配布は、出版社ではなく、著者最終稿が掲載可能な場合が多い。 ※出版社(電子ジャーナルのPDFなどの掲載を許可している出版社は少数)。 	<p>●●● コンテンツについて・2(付録)</p> 	<p>●●● コンテンツについて・3</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録予定コンテンツ <ul style="list-style-type: none"> 紀要論文 学位論文 科研報告書・COE報告書 雑誌掲載論文 授業用教材 その他、本学教員が作成したコンテンツ
<p>●●● 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18年度 <ul style="list-style-type: none"> 学内コンテンツの調査・収集 コンテンツの成形 著作権処理 機関リポジトリの構築・運用に係る機種の作成 平成19年度 <ul style="list-style-type: none"> リポジトリサーバの導入 コンテンツの登録 正式公開 	<p>●●● お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 著者最終稿をお手元に保管してください。 各教員のコンテンツをリストアップし、コンテンツの保管状況を問い合わせします。(10月中旬以降) 機関リポジトリの充実を図るため、リストアップ以外のコンテンツもご提供をお願いします。 PDF化が困難な場合はご相談ください。(紙媒体→PDF等) <p>お問い合わせは別紙掲載回数表まで。 内線 2010(直経) メール: ktsmura.tskko@kochi-tech.ac.jp</p>	<p>問い合わせ...0件</p>	

❖ 学内説明会の資料作成(その2) <教職員懇談会>

<p>新しい情報発信</p>  <p>高知工科大学学術情報リポジトリ</p>	<p>“リポジトリ”とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 保管庫 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学術成果(電子ファイル)を保存 ◆ 無償で公開 	<p>目的</p> <table border="1"> <tr> <td>保管する</td> <td>届ける</td> <td>広報</td> </tr> <tr> <td>一元的に保管</td> <td>インターネットを通して、多くの人に学術成果を届ける</td> <td>研究・教育の成果を知らせる</td> </tr> </table>	保管する	届ける	広報	一元的に保管	インターネットを通して、多くの人に学術成果を届ける	研究・教育の成果を知らせる	<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 教員 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 成果が一元的に保管される ◆ 読者の拡大(引用)の増加 ◆ 地域社会(大学外) <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学術成果を「簡単」に「無料」で見られる ◆ 大学 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学術成果を自機関で保管 ◆ 積極的な情報公開 ◆ 社会貢献 	
保管する	届ける	広報								
一元的に保管	インターネットを通して、多くの人に学術成果を届ける	研究・教育の成果を知らせる								
<p>登録する学術成果を募集しています</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 代行登録 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 論文・教材等を図書館で代行登録します。 ◆ 論文リスト <ul style="list-style-type: none"> ◆ 各教員ごとに論文リストを作成 ◆ 公開可能な成果物のご提供をお願いします。 ◆ 教員評価システムとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成18年度提出ファイルは順次収録 ◆ 平成19年度 実施予定 	<p>著作権と特許</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 著作権が出版社・学会にある場合 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 出版社、掲載雑誌のポリシー ◆ このため、ご登録いただいたリポジトリに掲載できない場合がありますがご了承下さい。 ◆ 著作権が著作者にある場合 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 著作者の特許が必要 ◆ 「リポジトリに登録すること」 ◆ 「インターネットを通して検索すること」 ◆ 特許(知財) <ul style="list-style-type: none"> ◆ 特許出願後にご提出ください。 	<p>著者原稿を保存してください</p> 	<p>新しい情報発信が始まります。</p> <p>試験公開:平成19年9月5日 本公開:平成19年10月1日</p> <p>高知工科大学学術情報リポジトリ http://reposit.ik.kochi-tech.ac.jp/Repository/ http://reposit.kochi-tech.ac.jp/</p>	<p>少ないけれど、手応えに!</p>						

問い合わせ・・・3件 → 論文登録3件

短時間で簡単なプレゼンが効果的

注意点

- ◆ 発表時間に見合ったプレゼン量
- ◆ 文字に頼らない
- ◆ 詳細は書かない→詳細は準備サイトへ
- ◆ 専門用語はできるだけ使わない
- ◆ 経験
- ◆ 当日の会議の様子

ポータル担当者研修



❖ 公開承諾書の作成

- ◆ 著者本人用
- ◆ 共著者用
- ◆ 博士学位論文用
- ◆ (英文バージョン)

DRFの [トピック] に
運用指針一覧あり

❖ 運用指針案の作成

❖ 著作権ポリシーの調査(SHERPA/RoMEO, SCPJ)

❖ 取り組みについて紀要論文を投稿(教員の協力)

今後の予定と課題

❖ 登録件数の増加

◆ 学術雑誌掲載論文の収集

- ◆ 出版社版利用可の雑誌論文をリスト化し、教員に配布

◆ 過去の教員評価システムの収集論文等を整理

- ◆ 電子化済み
- ◆ 著作権処理

◆ 論文以外の成果物の収集(研究報告、展示会資料など)

❖ 広報活動

◆ ちらし作成(ILL複写物、論文リスト配布時に同封)

問題点

❖ 教員との接点

- ◆ 登録する論文を創生するのは教員(研究員)
→論文リスト配布時がチャンス

❖ 教員評価システムとの連携

❖ 教員DBとの連携

- リポジトリは公開サーバ？

❖ 人員不足

新しい情報発信が 始まります。

試験公開：平成19年9月5日

一般公開：平成19年10月1日

高知工科大学学術情報リポジトリ

<http://kutarr.lib.kochi-tech.ac.jp/dspace/>

案内サイト

<http://kutarr.lib.kochi-tech.ac.jp/ir/>



ご清聴ありがとうございました。